

課題別委員会

自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会（第25期・第7回）

議事要旨

1. 日 時 令和4年9月15日(木) 15:00~17:30
2. 会 場 オンライン開催(Zoom)
3. 出席者 永井、尾崎、大倉、遠藤、唐沢、西條、柴山、澁澤、須田、藤井、水野、向殿、
渡辺、佐倉、中野、松宮（敬称略）
参考人 森 雅志（敬称略）

4. 配布資料

資料1: 第6回議事要旨（案）

資料2: 第6回議事メモ（非公開）

資料3: コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築

資料4: 自動運転にかかわる倫理および法

資料5: 見解案（自動運転における倫理・法律・社会的課題）要旨

議 題

1) 前回議事要旨確認

永井委員長から説明があり確認された。鎌田幹事より、補足説明があった。

2) 話題提供：「富山市が19年かけて取り組んできたまちづくり」

森先生（（元）富山市長、富山大学客員教授）

ライトレールを主体とした富山市の公共交通の活性化についての講演があった。ライトレールを推進する際の議会や市民からの反対意見に対する対応方法、富山ライトレールを富山地方鉄道が吸収した意義、センサーネットワークを作る際の苦労、富山市の成功ノウハウをどのように伝えていくか等の点について議論が行われた。

3) 話題提供：「自動運転にかかわる倫理および法」松宮委員

改正道路交通法で許可制度が創設された「自動運転」はどこまで可能か。特定自動運行実施者と特定自動運行主任者の責任、常時監視義務、トロリー問題等の課題が取り上げられた。トロリー問題における功利主義的考え方、ドイツにおける考え方、米国および中国での扱われ方、緊急事態における対応方法、正義と倫理、人間工学的な常時監視の妥当性等について議論が行われた。

4) 第25期の見解及び提言について

見解について、中野幹事から説明がなされた。文章に分かりやすさが求められた。安全だけでなく自

動運転が引き起こす社会問題にも触れることが要望された。また、「日本の文化、地域特性に配慮した自動運転に関する倫理的検討」という記述については、倫理に普遍性がないとの主張に取られることもあり慎重になるべきとの意見があった。関連する委員の方に査読をしてもらいながら、修正案を作ることにした。

5) その他

日程等の連絡事項。

以上